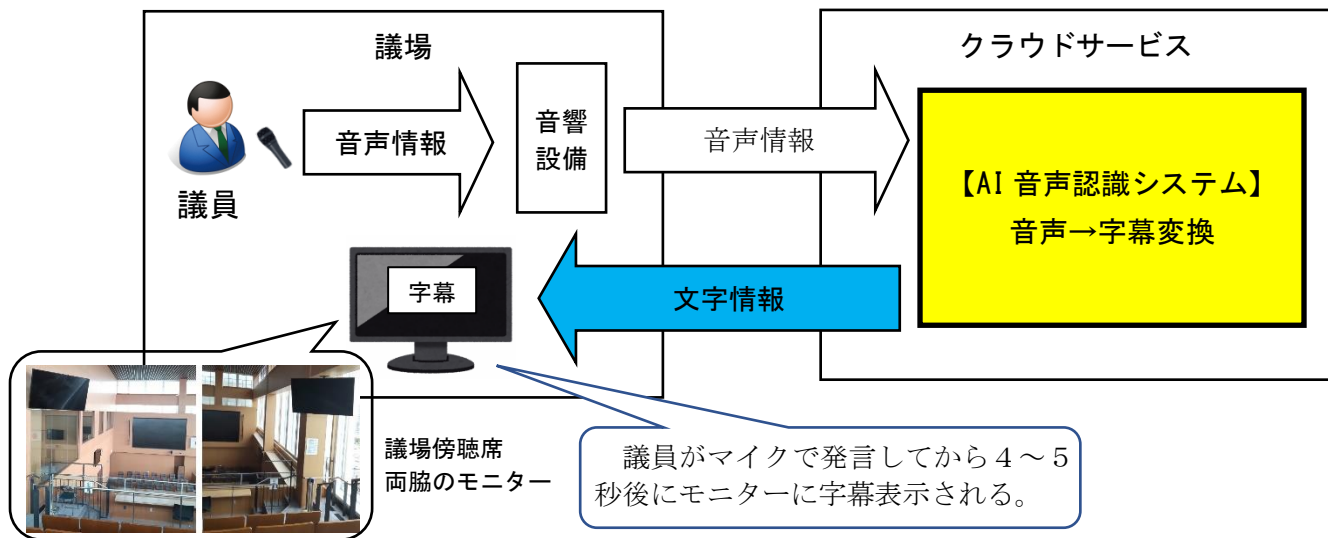


AI 音声認識システムの活用

1 目的

本会議（議場）での発言を「AI 音声認識システム」を活用して、リアルタイムで文字変換し、議場傍聴席モニターへ字幕表示する。これにより、聴覚障害者や高齢者等の聞こえを支援する。

2 システムイメージ



3 概算経費（年額）

初期経費：191千円（初期ライセンス費、ケーブル類等購入費）【初年度のみ】

継続経費：409千円（システム利用料、端末代）

4 スケジュール（想定）

令和6年4～5月 システム調達・運用準備

令和6年 6月 令和6年第2回定例会から試行運用

令和6年 9月 令和6年第3回定例会から本格運用

5 傍聴席モニターへの字幕表示を実施している政令市（4市）

川崎市、横浜市、相模原市、堺市

